

パリの広域圏下水道事務組合(SIAAP)と 下水道分野における協力に関する覚書を締結しました！

世界的にも長い下水道事業運営の歴史を有し、先進的に公民連携に取り組んでいるフランス国の下水道事業者であるパリ広域圏下水道事務組合(SIAAP)と、下水道事業における老朽化対策についての知見や、公民連携の在り方等を検討するのに有益な情報を得ることを目的として、令和元年8月14日に、継続的に最新の知見の共有を図るための覚書を締結しました。

※ パリ広域圏下水道事務組合(SIAAP)とは

SIAAPは、パリ市を中心とするイル・ド・フランス地域の304市町村、約900万人を対象とした下水道幹線と処理場の管理を行う広域下水道事務組合です。

1 覚書の概要

下水道事業に関して、以下の分野における知見の共有と協力を促進します。

- ・ 老朽化した下水道管の点検、維持管理などのストック・マネジメント
- ・ 効率的・効果的な下水処理場の運転管理（公民連携による事業の効率化等を含む）
- ・ 地球温暖化対策に向けた下水道資源の回収
- ・ グリーンインフラの導入等による公共用水域の水質向上 等

2 覚書の有効期間

令和元年9月1日から2年間で、その後1年毎の自動更新が予定されています。

3 今後の展開

少なくとも1年に1回の合同ワークショップを遠隔会議などによって開催し、下水道事業に関する知見の共有と協力の促進を図ります。

参 考

これまでの交流の様子



※ 平成30年9月に東京で開催された国際水協会(IWA)世界会議への出席のためにSIAAPが来日した機会などを活用し、意見交換を行い、相互に取り組みの紹介などを行ってきました。

参 考

<SIAAP の概要>

- パリ市を中心とする隣接3県（124市町村）とさらにその外側の4地区（180市町村）を対象とした下水道幹線と処理場の管理を行う 広域下水道事務組合

対象人口：約 900 万人

管理範囲：

基礎自治体下水道管網



県の幹線下水道管

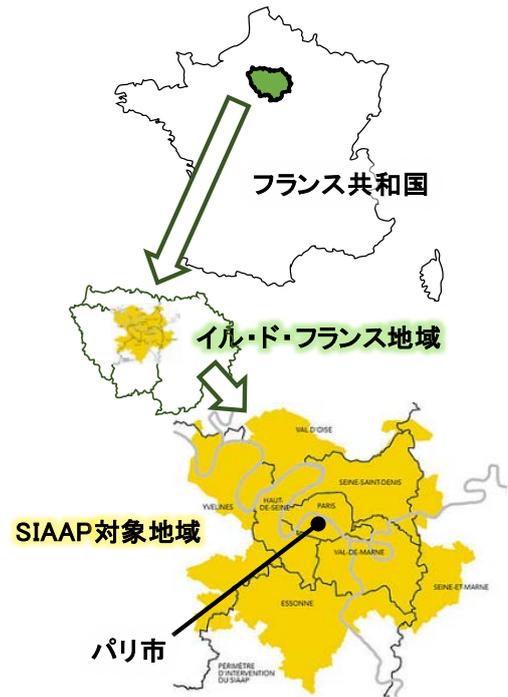


広域幹線下水道管



下水処理場

} SIAAP の管理範囲



SIAAP の対象地域
(一部、SIAAP の HP より引用)

パリ市における長い下水道事業の歴史

	パリ市	横浜市
近代的な下水道整備の着手	【1856～1870年】 パリ市内の下水道幹線の整備が行われ、現在も使われています。 (総延長約 560km)	【1881～1887年】 関内外国人居留地における下水道幹線の整備が行われました。 (約 17km)
下水の処理の開始※	【1875年頃】 広大な農地における下水の灌漑用水利用によって、下水処理が開始されました。 【1940年頃】 標準活性汚泥法処理を含む下水道事業計画が1930年に策定され、近代的な下水処理が開始された。	【1962年】 震災や戦争等で整備が遅れ、1962年に中部下水処理場が稼働し、標準活性汚泥法による下水処理が開始された。

※ 両市ともに、下水の処理が開始されるまでは、河川や海に下水を排除する目的で下水道管が整備されていました。

お問合せ先
環境創造局下水道事業マネジメント課担当課長 赤坂 真司 Tel 045-671-2940